

2021年4月8日  
株式会社 時事通信社

## 個人情報の誤送信に関するおわび

このたび、当社の行財政情報サービス「i J AMP」(有料契約)で、新規に利用登録された契約先29自治体の職員73人分の個人情報が、別のi J AMP利用者に誤って送信される事態が起きました。以下、お知らせするとともに、関係者の皆さまにご迷惑をおかけしたことを深くおわび申し上げます。

### ■経緯

i J AMPは、ご契約先の新規利用者が利用登録ページで入力・送信いただいた情報が当社システムに届くと、利用者に「登録完了のお知らせ」としてお客様番号のみをメール送信します。

4月1日、メール情報を管理するデータベースの登録数が上限に達したため、更新作業を行った際に手順の誤りがあり、入力情報を含む当社管理用の内容が他の利用者に誤送信されました。

### ■誤送信の対象者

誤送信の対象となったのは、4月1日午前11時12分から同20分ごろの間に利用登録いただいた29自治体(道府県と区市)の職員計73人分です。誤送信先は、i J AMPのデータベースに登録がある自治体職員の方々と当社社員等の計94人です。

### ■誤送信の内容

誤送信された内容は、i J AMPの利用登録に入力いただいた所属団体名、都道府県名、所属部署名、役職名、氏名、メールアドレス(メールサービスの配信希望情報を含む)、およびシステムが自動的に付与した顧客IDとお客様番号です。登録内容の一部であるメールアドレスとお客様番号が記載された登録完了通知が、別のご利用者に誤送信されたケースもありました。

### ■当社の対応

4月1日、すべての誤送信先に対し、メールにておわびするとともに今回の誤送信経緯について説明し、誤送信されたメールを削除していただくよう依頼しました。

また順次、誤送信の対象となった自治体には経緯を説明して謝罪するとともに、該当する利用者職員の方々にも、説明とおわびのメールを差し上げております。

### ■再発防止策

誤送信の原因となったデータベースについて、登録数が上限に達することがないように設定を変更したうえ、データベース操作を伴う作業手順を見直し、関係者で周知徹底いたしました。

当社は今回の事態を厳粛に受け止め、今後はこうした事態が起こることがないように、システムと情報管理体制の強化を徹底していく所存です。

このたびは、ご契約者様をはじめとする関係先の皆さまに多大なご迷惑、ご心配をお掛けする事態となったことにつき、重ねて深くおわび申し上げます。

以上